

令和元(2019)年産「葉月みのり」の収穫がスタート — 第1回全日本おむすび選手権も開催

本格デビューを迎えた新極早生品種「葉月みのり」の稲刈りが、県内で作付けされた葉月みのりのトップを切って8月17日頃、柏崎市でスタートします。

また、収穫したばかり葉月みのりを味わえるイベント、第1回全日本おむすび選手権が次のとおり開催されます。

1 「葉月みのり」とは



新潟県農業総合研究所が開発した極早生品種で、粒が大きく、甘味が強い特徴があります。

コシヒカリとこしいぶきの食味を受け継ぎ、新潟県で一番早い新米として8月(葉月)に収穫(みのり)できることから命名されました。

平成26(2014)年から試験栽培を継続し、柏崎市では、昨年、15の生産者6.3haの作付けでプレデビューし、今年は本格デビューとして、48の生産者58.9haの作付けを行いました。

2 第1回全日本おむすび選手権の概要

- (1) 日時 令和元年(2019年)8月25日(日曜日)
午前10時～
- (2) 会場 みなとまち海浜公園「夕陽のドーム」
- (3) 内容 葉月みのりで「おむすび」・ぴったんこカンカン、新米葉月みのり美食バイキング、出会いふれあいフードマーケット他
- (4) 主催 柏崎「地消地産」研究会、全日本おむすび選手権実行委員会
- (5) 協賛 新極早生品種「葉月みのり」普及推進協議会、JA 柏崎

